

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部 後援会役員会 議事要旨

1. 日 時 令和6年5月25日（土）10時00分から12時20分
2. 場 所 滋賀大学彦根キャンパス 校舎棟2F 第7講義室
3. 出席者 （役員14名中12名出席、委任状1名、欠席1名 / 定足数7名）

議 事

1. 学部の現況説明（経済学部／データサイエンス学部／就職状況）

（1）経済学部の現況報告

百周年の記念事業、経済学部の現況、夜間主コースの廃止、日本初の経営分析学専攻（MBAN）の開始について報告があった。

（2）データサイエンス学部の現況報告

就職先が良くなっていること、学部・大学院の定員が増えること、総合型選抜の内容変更や「女子枠」の設定について、報告があった。

（3）就職状況

就職率（就職を希望する学生で実際に就職した学生の割合）は経済学部で98%、データサイエンス学部で100%となっている。自分が何をやりたいのかを見極め、自身の望む就職先に入れるように案内をしていくとの報告があった。

2. 新役員の選出及び令和6年度役員体制について

新入生保護者から、経済学部とデータサイエンス学部から各2名ずつ、計4名の新役員を選出することについて提案があり、異議なく承認された。新役員の任期は4年間となる。

3. 令和6年度行事日程（案）について

事務局から説明があった。

4. 資格取得報奨制度について

事務局から説明があり、意見交換が行われた。

将来、学生が海外でも活躍できるように、ビジネス英語や留学への支援強化の要望が挙げられた。後援会としても補助を手厚くしたいが、語学系以外の資格取得補助もあり、支出増加が予想されるため、収入と学生のリターンの面でのバランスを考え、調整していく方針となった。

5. 会計スペシャリスト育成支援制度について

審査委員会メンバー5名の選出について提案があり、異議なく承認された。

6. 令和5年度事業報告及び決算について

事務局から説明があり、審議の結果、異議なく承認された。また、後援会活動の認知度が低いため、後援会から学生への支援であるとわかる形で示すよう、各部署へ依頼することとなった。

7. 令和5年度会計監査報告について

昨年度監事から、3月27日及び30日に実施した会計監査報告について報告があり、異議なく承認された。

8. 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について

事務局から説明があり、審議の結果、令和6年度事業計画（案）及び予算（案）が異議なく承認された。

9. 令和6年度繰越金の執行計画について

コロナ期間で執行できなかった予算の執行を何に使用するのかの話し合いが行われた。

本学学生や教職員は自転車利用が多いことから、自動の空気入れの購入や雨の日にバスを利用する人向けの待合室の設置を要望する案が挙げられた。

10. 後援会だより第15号の発行について

後援会だよりをHPに掲載しているが、それに加え、役員名簿も掲載することについて会長から確認があり、異議なく承認された。

11. その他

6月6日(木)のデータサイエンスキャンパスフォーラムの実施案内があった。

以上